



文化庁
Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan

文化庁 2019年度 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業

Ballet Création

クレアソン

主催：文化庁／公益社団法人日本バレエ協会 制作：公益社団法人日本バレエ協会

— 日本バレエ協会 新進バレエ芸術家育成支援事業 3 —

Choreographer

NAOYA HOMAN

宝満 直也 振付作品

Four to Four

Choreographer

YASUYUKI ENDO

遠藤 康行 振付作品

月下

Choreographer

MOTOKO HIRAYAMA

平山 素子 振付作品

Sarcophagus

 サルコファガス

9th Nov. 2019

MIELPARQUE HALL

メルパルクホール

11月9日(土)

午後4時30分開場 **5時開演**

チケット：S = ¥6,600 / A = ¥5,500 <お求めは下記へ>

(公社) 日本バレエ協会 TEL. 03-5437-0372 FAX.03-5437-8464 インターミューズ・トーキョウ : TEL. 03-3475-6870

チケットぴあ : TEL. 0570-02-9999 (Pコード : 497-546)

照明：足立恒 (Impression) 装置：ユニ・ワークショップ 音響：矢野幸正 (アートスタジオY's) 舞台監督：堀尾由紀

制作担当：岸辺光代 (チーフ) / 篠原聖一 協賛：Chacott チャコット株式会社

<http://www.j-b-a.or.jp>

Four to Four

振付：宝満 直也
音楽：セルゲイ・ラフマニノフ

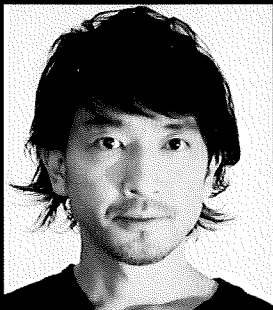
野久保奈緒 新井 悠汰
相原 舞 池田 武志
沖 香菜子 秋元 康臣
竹田 仁美 高橋 真之
盆子原美奈 土田明日香
荒木 侑梨 岩崎 聖
栗田 陽南 染谷 知香
鳥越 瞳 内藤 澄可
長谷川 華 林 優衣

北美代子に師事してバレエを始める。新国立劇場バレエ研修所第5期研修生。2010年、新国立劇場バレエ団入団。2014年、ファースト・アーティストに昇格。振付家としても「Light Dance」、「Disconnect」、「はなわらう」、「3匹の子ぶた」など多くの作品を発表し、高い評価を得た。2016年、オン☆ステージ新聞若手振付家ベスト1、2017年、同バレエ団を退団、NBAバレエ団に移籍、「海賊」「白鳥の湖」では重要な場面のほぼ全てを振付けた。コンテンポラリー作品からクラシックまで創作の幅は多岐に亘る。

Naoya Homan



● 4楽章編成のバレエ作品、コール・ド6名を配する予定。ラフマニノフ作曲の2台のピアノによる連弾楽曲を使用、2台のピアノ（4本の手）と、特色が異なる4組のプリンシパル、そしてコール・ド・バレエが音楽的に、繊細に、パワフルに響き合う作品。



Yasuyuki Endo

1991年スターダンサーズバレエ団入団、数々の作品を主演する。94年文化庁在外研修員としてオーストラリアバレエ団にて多数の公演に出演。同バレエ団「ニュームーブス」公演にて振付。98年村松賞を受賞。同年、宮本聖門ダンス公演、99年坂本龍一オペラに出演。同年、ルギー「シャルルロワ・ダンス」に入団。05年フランス国立マルセイユバレエ団にソリストとして入団、数々の自作品を同団で上演。13年より「JAPON dance project」の立ち上げメンバーとしてカンヌ、東京にて公演。エンドウ・バレエ主宰、JAPON dance projectメインメンバー。ユースドリームサポートプロジェクト、横浜バレエフェスティバル芸術監督。

月下

振付：遠藤 康行
音楽：アルノルト・シェーンベルク
美術：長谷川 匠
衣装：急須屋
アシスタント：梶田 留以

梶田 留以	佐々木世理央	大石紗基子	岡本 壮太
小幡 真玲	片野 翠	清水あゆみ	新城 瑠夏
須惠奈菜美	宗 麻衣子	津山 舞花	永沼 純奈
	田代 幸恵	松井 珠緒	山本 晴美
	前谷日向子	飛永 嘉尉	南條 健吾
石原 一樹	鈴木 隆司		

● この作品はリヒャルト・デーメルを元にシェーンベルクが作曲した「浄夜」からインスピレーションを受け、現代の物語と意識しながら創作している。この詩はキリスト教以来の「寛容」という道徳主題を持ち、徳の計り知れない大きさを感じさせる。月の下、森の中を男女が歩きながら語られる衝撃的な事実を受け入れ浄化されて行く。月は暗闇に美しく輝き常に形を変える狂気の象徴。森は生命の象徴、解放感、風。そこには「光」と「闇」、「狂気」と「浄化」がある。私は暗闇に日々形を変えて輝く月、人間の心の奥底に広がる森とは何なのかを模索する。

Sarcophagus サルコファガス

振付：平山 素子
音楽：落合 敏行
美術：渡辺 晃一
衣装：土田ひとみ
アシスタント：永田 桃子
清水美紗都

Motoko Hirayama

静謐さと昂揚を自在に奏でるダンサーとして観客の熱い支持を集め、振付作品は表現者の身体が無意識に変化をきたす幻想的な様相から"立体デカルコマニーのようだ"と評される。2006年S・ザハロワに『Revelation』を提供。06年中川鋭之助賞、07年朝日舞台芸術賞、09年芸術選奨文部科学大臣新人賞、江口隆哉賞を受賞。12年新国立劇場バレエ団「Dance to the Future」に3作品を提供する。16年バスク地方とアイヌの伝承音楽を使用した『HYBRID』で欧州ツアーで好評を博す。18年にはパーカッショニストの加藤訓子との共演でS・ライヒの「Drumming」にソロで挑んだ『DOPE』を、NHKバレエの饗宴にてH・ディティユーの「Métaboles」を使用した『Chimaira』を発表。筑波大学体育系准教授。



松岡 希美	中川 賢			
金 愛珠	藤井 淳子	永田 桃子	藤村 港平	森田 維央
安藤 沙綾	稲葉由佳利	梶原 芽衣	斎藤 瀬奈	清水美紗都
中島 夏来	中村 瑞乃	新名かれん	松尾 詩織	南 帆乃佳
モテギミユ	山田菜美子	湯淺 愛美		
鈴木 亮祐				

● 作品名の語源は、ギリシャ語の sarx (肉体) + phagein (食べる)で、「肉体を食べるもの」という意味。彫刻や装飾を施されているエジプト石棺のこと。